

提出金名： 国際農業研究協議グループ提出金

国際機関等名	国際農業研究協議グループ (略称) CGIAR					
種 別	国連本体		国連専門機関		○その他	
所轄官庁担当局課名	外務省経済協力局国際機構課					
最近3年間の我が国支払額及び提出率、ODA率						
	金 額				提出率(%) (注)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1	外貨2	レ ー ト		
平成14年度	1,889,000				(2002年)	100
平成13年度	3,620,099				(2001年) 8.7	100
平成12年度	3,918,500				(2000年) 10.5	100
提出上位5ヶ国						
	国 名		率(%)		左の率及び順位は 2000年のもの	
1位	世銀		13.6			
2位	米国		12.7			
3位	日本		10.5			
4位	EC		6.7			
5位	スイス		5.5			
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
国際農林水産研究に対する長期的且つ組織的支援を通じて、途上国における食糧増産、農林水産業の持続可能な生産性改善により、農村を中心とした福祉の向上に努めている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
2001年より、機構改革に取り組んでおり、グローバルな観点からの研究プログラムの構築、組織の改編等を通じて、機能の強化、戦略的な農業研究の促進を行っており、我が国としても積極的に関わってきている。						
邦人研究員数 うち幹部以上	17人 うち 0人		当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	8,485人 0.2%		
邦人職員が占めている幹部ポスト(非常勤理事)						
ポストの名称(ランク)	職 員 氏 名		備 考			
非常勤理事 (上記研究員数とは別数)	前野 休明 田中 由美子 岩永 勝 金田 忠吉 能勢 健嗣 他計17名		CGIARは16の研究センターの統合体の 総称である。			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
国際農林水産業に関する研究に対しては、国際雇用研究員への応募、本邦大学博士課程よりの研究者派遣等を恒常的におこなっており、特に若手研究者支援に対しては積極的に実施している。						

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、提出率については暦年(2000年～2002年)。